

果樹病虫害発生予察調査結果（7／25調査分）
（三条、加茂、田上地域）

7月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数が増加傾向です。第3世代幼虫の防除時期は7月下旬から8月上旬ですので、JAの防除暦や情報を参考に防除を実施し、被害部位は除去しましょう。
- ハダニ類の発生が拡大しています。園地状況を観察した上で発生初期に防除を実施しましょう。
- モモを中心に、収穫期を迎えている品種もあります。隣接園地の防除時はドリフトに十分注意しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は新梢葉での発病が増加しています。また、一部でり病果も確認されています。り病部位は摘み取って園外で処分し、感染拡大を防止しましょう。
- 一部で、アブラムシ類の寄生葉が確認されています。発生が多い場合は、寄生・被害部位の除去や薬剤散布を実施しましょう。

（モモ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は発病が増加傾向で、新梢葉への発病が確認されています。引き続き、り病部位の除去や防風網の点検を実施しましょう。
- 今回の調査で灰星病り病果は確認されませんでした。JAの「令和7年度桃収穫・管理日程表」を参考に収穫前防除を実施し、収穫間際の被害を防ぎましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに１００葉、１００果房を調査しました。

- 一部で、アザミウマによる被害葉が確認されています。適期防除や被害部位の除去で被害拡大を防止しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は８月８日（金）を予定しています。

担当　：中越支所　果樹共済係 TEL：０２５８－３６－８１０５ FAX：０２５８－３４－８０２０
--